



博士・修士論文題目、執筆者紹介、編集規定、研究室だより、奥付

著者	同志社社会学研究学会
雑誌名	同志社社会学研究
号	19
ページ	77-81
発行年	2015-03-31
権利	同志社社会学研究学会
URL	http://id.nii.ac.jp/1707/00023312/

2014 年度 博士論文題目

氏 名	論 文 題 名
白 川 俊 之	教育機会の階級・階層間不平等の研究 ——持続と変容のメカニズムに関する計量分析——
片 岡 佳 美	現代日本社会における「家族らしさ」と合意制家族についての研究（論文博士）

2014 年度 修士論文題目

氏 名	論 文 題 名
長谷川 由利子	婚活現象と現代家族のゆらぎ ——「子育て」意識と「キャリア追求」意識——
池 田 梨恵子	看護系大学卒業者の資格取得後のキャリアパス ——トップクラスの看護系大学卒業者を事例として——
野々村 元 希	エミール・デュルケムの「道徳的個人主義」について
藍 柏 喬	台湾における客家文化とアイデンティティ ——屏東昌隆の伯公信仰「新灯祭」を事例に——
李 文	中国人留学生の友人関係 ——ネットワークングの視点から——
鄭 鈺 梅	中国朝鮮族社会の変化と移動に伴う家族儀礼の継承と変容 ——延辺州琿春市の事例を中心に——
周 越	日本における中国人研修・技能実習生についての研究 ——福井県の事例調査を中心に——

執筆者紹介

デブナール・ミロシュ **DEBNÁR Miloš**

同志社大学社会学部 助教

長谷川由利子

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻 博士前期課程

野々村元希

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻 博士前期課程

李 文

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻 博士前期課程

『同志社社会学研究』編集規定

- 【1】本研究誌は同志社社会学研究学会の機関紙として社会学の研鑽に寄与し、また会員相互の研究交流に資することを目的とする。
- 【2】掲載内容は以下のものとする（枚数：400字）
- 研究論文（40～60枚）
 - 研究ノート（20～30枚）
 - 書評
 - その他
- 【3】編集委員は本学社会学科教員、同院生、同修了・卒業生の代表により構成される。専門委員は本学社会学科教員より構成される。
- 【4】投稿者は本学社会学科教員、同院生、同修了・卒業生とする。
- 【5】原稿は書籍、学術雑誌に未発表のものに限る。掲載の可否は、専門委員の審査の結果を受け、最終的に編集委員が行う。
- 【6】原稿の締め切りは12月末、発行は3月とする。投稿者は10月末までに専門委員1名に草稿を送付するとともに投稿の意思を伝え、12月末までに当該専門委員に最終原稿を送付しなくてはならない。
- 【7】執筆要領
- 横書き、口語常体、完成原稿で提出。註や参考文献の書式は日本社会学会機関誌『社会学評論』に準じ、論文の最後に別々にまとめる。詳しい執筆要領は別に定める。
- 【8】提出原稿の形式
- 原稿には日本語と英文タイトルをつけ、ハードコピー（40字×40行）と電子媒体で提出すること。
- 【9】執筆者の原稿は、同志社大学ホームページ上の「同志社大学学術リポジトリ」上に公開することを原則とする。
- 【付記】
- その他の事項については、社会学の研究誌としての性格に鑑み、編集委員会が対応する。

（2009. 7. 26 改正）

◆ 研究室だより ◆

2014年度の社会学研究室はみな元気で活動しております。2013年度から同志社大学副学長になられた尾嶋史章先生は任期2年目を務められ、2015年度は3年目とされます。学科内のニュースとしましては、2014年度からデブナール・ミロシュ（Miloš DEBNÁR）先生に任期つき専任教員としてご着任頂きました。ミロシュ先生はスロバキヤからお越しになられ、京都大学で大学院生時代をお過ごしになられましたので京都歴が長い方です。ミロシュ先生は定量的調査も定性的調査もされますので、今年度は社会調査実習で学内の留学生にインタビューとアンケートを行う授業をして下さいました。社会学科の学生にとってもグローバル化を学内で実感できるよい機会となりました。

大学院では、博士後期課程の巴芳さん（2013年度に提出して学位取得済み）、白川俊之さんが博士論文を提出され、学位を取得されました。また、O. G. である島根大学 法文学部・人文社会科学研究科 准教授 片岡佳美先生が論文博士の学位（同志社大学）を取得されました。そして博士前期課程では7名修士論文を提出しました。

本号はご着任頂きましたミロシュ先生にご執筆頂き、院生では野々村元希さん、長谷川由利子さん、李文さんが修士論文をまとめましたので、合計4本の論文で構成されています。またOB、OG、その他同志社に関わって下さいました諸先生方からの投稿を心よりお待ちしております。

今後もスタッフ一同、健康に留意して、新学期から入学してくる博士前期課程、後期課程の院生を迎えたいと思います。

（藤本）

◆ 編集委員 ◆

森川眞規雄（同志社大学社会学部）
藤本 昌代（同志社大学社会学部）
杉本久未子（大阪人間科学大学人間科学部）
岡本 洋一（博士後期課程）
池田梨恵子（博士前期課程）
野々村元希（博士前期課程）

同志社社会学研究 第19号

2015年3月31日発行

発行人 同志社社会学研究学会

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL. 075-251-3441

FAX. 075-251-3066

印刷 協和印刷株式会社